

令和3年
第1回（1月）
定例教育委員会会議録

令和3年1月27日

荒尾市教育委員会

令和3年1月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和3年1月27日（水）10時00分

2. 場 所 43号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専

4. 出席事務局職員

教育次長兼教 育振興課長	橋本 張幸	学校教育課長 兼教育審議員	永杉 尚久
生涯学習課長	宮脇 浩司	指導主事	大塚 真史
指導主事	成瀬 典子	課長補佐兼学 務係長	畑山 鉄也
教育政策係長	吉村 麗月		

教育長 ○開会宣言 令和3年1月27日（水）10時00分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名（渡邊委員）

1. 前回会議録の承認（西尾委員）
2. 議案

【議第2号 荒尾市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について（教育振興課）】

- 事務局説明
- 質疑

各委員	特になし
-----	------

【議第3号 荒尾市社会教育委員の委嘱について（生涯学習課）】

- 事務局説明
- 質疑

各委員	特になし
-----	------

【議第4号 荒尾市子どもの読書活動推進実行委員会委員の委嘱について（生涯学習課）】

- 事務局説明
- 質疑

各委員	特になし
-----	------

【その他 （1）荒尾市学校規模適正化基本計画（平成18～29年度）の総括の案について】

- 事務局説明
- 質問

委員	当面は、現状のまま進めていくということでしょうか。
事務局	今回は、この案について、委員方の意見をいただきたい。
委員	学校統合によって、子ども一人に対する先生の数が増えるのかそれとも減るのか。
事務局	統合する場合は減ったように感じるが、それは、法律により、教職員定数の標準が定められているものであるため、ご理解いただきたい。
委員	単純に、2校の学校の先生が全員、統合した1校にいくわけでないということか。
事務局	はい。
委員	先々の話として、35人学級の導入と小学校5・6年生の教科担任制の導入を計

事務局	画されているが、教職員の確保はどのようにするのか。 35人学級については、今回の文部科学大臣と財務大臣の折衝の結果ということであるが、35人学級に伴う教職員については、採用に向けて財源の裏付けをされていくところと推察される。今後、教職員の定数を定めている標準法の改正があるのではないかと推察される。教科担任制においては、具体的な話はまだである。
委員 事務局	専任教員の配置でなく、今いる教職員で工夫して対応となるのではないかと推察される。おそらく、今の定数の教職員が教科をそれぞれ受け持つということになるのではないかと推察されるが、詳しいことは未定である。
委員 事務局	文部科学省が例示する小規模校を存続させる場合の教育充実方策として小規模特認校制度とあるが、少し説明していただきたい。 隣の犬牟田市では既に1校導入されているもので、学校の活性化を図る目的で、通学区域外からの入学・転入学を認める制度である。

【その他 2月行事予定について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第2回定例教育委員会は2月25日（木）13時00分から開催したいと思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第2回定例教育委員会は2月25日（木）13時00分から開催します。

教育長 ○閉会宣言 令和3年1月27日（水）11時15分